



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3302 URL http://www.teisen.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白岩 強
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 岡村 建 TEL 03 (3281) 3022
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	20,969	△13.1	2,269	△22.3	2,992	△16.2	2,063	△16.9
2020年12月期第3四半期	24,123	2.6	2,920	△5.2	3,571	△1.8	2,482	1.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,603百万円 (ー%) 2020年12月期第3四半期 △1,699百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	78.06	76.57
2020年12月期第3四半期	94.20	92.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	71,050	57,646	80.1	2,151.32
2020年12月期	68,479	55,180	79.5	2,062.07

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 56,904百万円 2020年12月期 54,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	2.1	3,600	△14.1	4,200	△13.7	2,900	△14.2	109.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	27,394,400株	2020年12月期	27,354,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	943,443株	2020年12月期	943,446株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	26,437,033株	2020年12月期3Q	26,355,379株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、多くの地域で緊急事態宣言が再発出されるなど、厳しい状況が続きました。この間、新型コロナワクチンの接種が進みましたが、雇用情勢や企業の収益環境の本格的な回復には至っておらず、経済の先行きは依然不透明な状況が続いております。

防災事業の分野では、新型コロナウイルス感染拡大の猛威により多くの人命が奪われる状況が続いており、パンデミックへの備えは人類が取り組むべき永続的なテーマであることが改めて認識されています。2月には福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生するなど、近年、各地で局所的な地震が頻発しています。首都直下地震、南海トラフ地震による脅威もますます高まっています。7月には静岡県熱海市で大雨による大規模な土石流が発生し、甚大な被害が発生しました。豪雨や暴風は毎年のように発生し、河川の氾濫や土砂災害を引き起こすなど、国民生活や企業活動に大きな混乱を生じさせています。また、特殊災害においても、世界各地で発生するテロにより多くの人命が奪われるなど災害リスクが世界的な広がりを見せており、多様化、多発化、激甚化する災害に対する官民挙げての防災体制の確立がますます重要となっております。

繊維事業の分野では、リネン（麻）につきましては、麻素材の市場定着が進んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から市場は収縮しております。耐熱、耐切削、高強度など優れた機能特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野に加え、資材分野での新たな用途や市場の開拓、新規商材の開発を進めております。

2020年度よりスタートした第五次中期経営計画「帝国繊維（テイセン）2022」では、スーパー台風や記録的な大雨による洪水や高潮による水害被害に対し、大量送排水システム（ハイドロサブシステム）の拡販を通じた水害対策への貢献を掲げており、国土交通省及び自治体からの受注獲得に成功しております。セキュリティビジネスにおいては、コロナ禍により訪日外国人旅行客が大きく減少している状況にあっても、テロ対策の必要性は高まっており、当社グループでは爆物検知器やボディスキャナーなどセキュリティ商材の開発強化を進め、セキュリティビジネスの新たなフロンティアの開拓に取り組んでおります。生産体制については、ホース工場としての鹿沼工場に次ぐ第二の生産拠点として、下野工場を新設し、防災車輛工場を移転のうえ、8月より稼働を開始いたしました。また、6月には、下野工場における防災特殊車輛の開発・製造拠点機能拡充のための設備新設（第Ⅱ期工事）を決定すると共に、鹿沼工場についてはホース生産新ライン建屋並びに生産設備新設の決定を行っており、今後の当社事業を支える生産体制の刷新・再構築を進めております。

かかる中、当第3四半期連結累計期間の売上高は209億6千9百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益は22億6千9百万円（同22.3%減）、経常利益は29億9千2百万円（同16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億6千3百万円（同16.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

防災事業では、原子力発電所などの大型防災資機材が大きく売上を伸ばしたほか、空港化学消防車や救助工作車も堅調に推移したものの、前年同期業績に大きく寄与した空港向けセキュリティ機材、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材等の売上の反動減が影響したことから、売上高は167億8千2百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

繊維事業では、官公庁向け繊維資材の売上が減少したほか、コロナ禍により産業資材およびアパレル向け麻素材の売上が減少したことから、売上高は37億6千1百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

不動産賃貸事業・その他は概ね順調に推移しており、売上高は4億2千4百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を概観いたしますと、総資産は、現金及び預金や売上債権が減少した一方で、有形固定資産が増加し、保有上場株式の含み益も増加したことから、前連結会計年度末対比25億7千1百万円増加し、710億5千万円となりました。

負債は、仕入債務が減少した一方で、繰延税金負債が増加したことから、前連結会計年度末対比1億5百万円増加し、134億3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や保有上場株式の含み益が増加したことから、前連結会計年度末対比24億6千5百万円増加し、576億4千6百万円となりました。

この結果、自己資本比率は80.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2021年2月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。大手民間企業向け大型防災資機材等が好調に推移すると予想されることから、当初予想値の達成は充分可能と判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,500,962	8,188,857
受取手形及び売掛金	7,760,849	3,584,364
有価証券	12,349,990	12,349,950
商品及び製品	4,855,160	7,316,350
仕掛品	1,266,785	1,688,498
原材料及び貯蔵品	719,995	587,378
その他	711,373	1,594,406
流動資産合計	38,165,117	35,309,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,673,287	4,667,288
機械装置及び運搬具（純額）	411,142	408,437
工具、器具及び備品（純額）	276,963	255,949
土地	3,593,735	3,718,906
建設仮勘定	860,604	789,947
有形固定資産合計	7,815,733	9,840,529
無形固定資産		
投資その他の資産	281,598	397,544
投資有価証券	21,891,563	25,173,873
退職給付に係る資産	76,476	51,470
繰延税金資産	66,009	95,690
その他	182,823	181,713
投資その他の資産合計	22,216,871	25,502,747
固定資産合計	30,314,204	35,740,821
資産合計	68,479,321	71,050,628

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,265,488	4,094,353
1年内返済予定の長期借入金	11,000	44,000
未払法人税等	322,467	320,584
役員賞与引当金	4,000	3,000
賞与引当金	—	244,195
資産除去債務	—	2,271
その他	1,356,608	768,935
流動負債合計	5,959,564	5,477,339
固定負債		
長期借入金	89,000	56,000
長期預り保証金	658,458	612,771
繰延税金負債	6,326,972	6,958,882
退職給付に係る負債	105,711	115,462
役員退職慰労引当金	50,000	50,000
資産除去債務	30,104	54,832
長期未払金	78,650	78,650
固定負債合計	7,338,896	7,926,599
負債合計	13,298,460	13,403,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,002	1,551,917
資本剰余金	912,407	926,421
利益剰余金	37,857,981	38,733,194
自己株式	△377,146	△377,250
株主資本合計	39,931,245	40,834,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,491,960	16,074,915
繰延ヘッジ損益	37,933	△4,784
その他の包括利益累計額合計	14,529,893	16,070,131
新株予約権	719,722	742,276
純資産合計	55,180,860	57,646,689
負債純資産合計	68,479,321	71,050,628

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）
売上高	24,123,720	20,969,172
売上原価	17,898,997	15,260,268
売上総利益	6,224,722	5,708,903
販売費及び一般管理費	3,304,386	3,439,356
営業利益	2,920,335	2,269,547
営業外収益		
受取利息	407	515
受取配当金	652,408	712,432
持分法による投資利益	1,240	1,453
その他	19,420	19,887
営業外収益合計	673,476	734,288
営業外費用		
支払利息	2,246	2,819
為替差損	3,418	2,918
保険解約損	1,036	—
支払手数料	15,849	4,972
その他	201	715
営業外費用合計	22,752	11,425
経常利益	3,571,060	2,992,409
特別利益		
固定資産売却益	10	53
投資有価証券売却益	1,334	24
特別利益合計	1,344	77
特別損失		
固定資産処分損	45,025	8,000
事業所移転費用	—	41,032
特別損失合計	45,025	49,032
税金等調整前四半期純利益	3,527,380	2,943,455
法人税、住民税及び事業税	916,259	952,392
法人税等調整額	128,395	△72,642
法人税等合計	1,044,654	879,749
四半期純利益	2,482,725	2,063,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,482,725	2,063,705

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）
四半期純利益	2,482,725	2,063,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,180,285	1,582,955
繰延ヘッジ損益	△1,863	△42,717
その他の包括利益合計	△4,182,148	1,540,237
四半期包括利益	△1,699,423	3,603,943
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,699,423	3,603,943

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りに
ついて）に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	18,724,183	4,974,776	400,043	24,717	24,123,720	—	24,123,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,446	19,074	8,460	—	34,980	△34,980	—
計	18,731,629	4,993,850	408,503	24,717	24,158,701	△34,980	24,123,720
セグメント利益	3,169,678	467,761	288,316	7,116	3,932,872	△1,012,536	2,920,335

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,012,536千円には、セグメント間取引消去511千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013,048千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	16,782,703	3,761,564	400,080	24,824	20,969,172	—	20,969,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,945	20,618	7,520	—	30,083	△30,083	—
計	16,784,648	3,782,182	407,600	24,824	20,999,255	△30,083	20,969,172
セグメント利益	2,620,628	305,403	279,284	6,328	3,211,644	△942,097	2,269,547

- (注) 1. セグメント利益の調整額△942,097千円には、セグメント間取引消去△4,606千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△937,491千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。